

# 大塚だより

調布大塚小学校

今、できることを

副校長 東 みどり

東日本大震災では、多くの尊い人命が失われ、また、避難生活をされている皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

先月二十一日、被災地でのボランティア活動をされた若松先生(昨年度の体育講師)から五・六年生が話を聞く機会がありました。若松先生は被災した子供たちのために何かできないかとの思いにかられ、三月に支援物資とギターを携えて避難所を回ったそうです。現地に行つて肌で感じたことを本校の子供たちにわかるように伝えてくださいました。そして、避難所で歌った自作の「ビリーヴ トゥモロー」と「絆」の二曲を本校の体育館でも披露してくださいました。最後に若松先生は、「被災地が普段の生活を取り戻すには、五年、十年、いやそれ以上かかるかも知れません。今は、人々の関心が高いが、次第に薄れていくと思います。みなさんには、決して忘れて欲しくないです。そして、五年、十年と長いスパンで支援することが大切だと思います。」と話を結びました。ボランティア体験談を聞いた後、五・六年生の教室では、原稿用紙に向かう姿がありました。「若松先生の話聞いて、被災地がどれほどひどい



5・6年生に話をされる若松先生

たちができることは、被災者の方々の気持ちになつて考えることだと思ひます。」と震災を振り返り、今できることを考えていました。そして、被災地の小学生に届けるメッセージの準備も進めていきました。また、四月十六日には、本校のおやじの会の方が保護者・地域の皆様から寄せられた真心の品を女川の子供たちに届けてくださいました。学用品・衣服などまだまだ足りないものもあり、必要としている所に必要としている物を直接届けるために、五月にも第二陣の車を走らせるそうです。このようなPTAの皆様の後姿からしっかりと調布大塚小の子供たちは人を思いやる心を学んでいると強く感じます。子供も大人も今できることを一歩ずつしていきたいと思ひます。

いざというときに、本校も地域の安心・安全の基地となるように施設の点検・充実を図つてまいりたいと思ひます。ご支援・ご協力をお願いします

ことになつていて、かすくわかりました。特別にお墓の上にトラックや車に乗つていたのに驚きました。「これから私

## 五月の行事予定 ×・・放課後遊ばなし

〔S〕・・スクールカウンセラー来校日

〔◎〕・・校庭開放日

二日(月) 写生会(一・二年)

三日(火) 委員会活動

四日(水) 憲法記念日

五日(木) みどりの日

六日(金) こどもの日

七日(土) 〔◎〕

八日(日) 〔◎〕・ガーデンパーティー(東一小)

九日(月) 安全指導・クラブ活動

十日(火) 一・二年遠足

十一日(水) 耳鼻科検診(三・四・五年)

十二日(木) 避難訓練・眼科検診(全)

十三日(金) 英語活動

十四日(土) 遠足(三・四年) 〔◎〕

十五日(日) 遠足(五年)

十六日(月) 補習教室

十七日(火) 〔◎〕

十八日(水) クラブ活動

十九日(木) 耳鼻科検診(二・三・六年) 〔S〕

二十日(金) 英語活動

二十一日(土) 交通安全教室 〔◎〕

二十二日(日) 〔◎〕

二十三日(月) クラブ活動

二十四日(火) 〔S〕

二十五日(水) 英語活動

二十六日(木) 〔◎〕

二十七日(金) 地域教育連絡協議会

二十八日(土) 〔◎〕

二十九日(日) とうぶ移動教室前検診(六年) 〔S〕

三十一日(火) 〔◎〕

四月二十六日より一年一組副担任として、中澤勇輝教諭が着任しました。授業研修のため二年生以上の学級に入ることもあります。

転任の挨拶

特色ある教育を進めるために

校長 吉野 明

赴任して一月経ちました。多くの方々と接する中で、学校をとり巻く温かい教育環境に感謝しています。小規模校の特色を生かし、子どもたち一人一人への理解をもとに、学力や体力の確実な定着や学校での豊かな集団作りを進めたいと思います。そのため、日々の授業改善や情緒面での指導に力を入れることで、「大塚の教育」の具現化を図りたいと思います。ご協力よろしく願います。

愛される学校に

副校長 東 みどり

桜の花が終わると、校庭の木々は緑の若葉に彩られてきました。毎日が新しい発見でうれしくなります。その中でも本校は保護者をはじめ地域の皆様々に愛されていることがよくわかります。七十年の伝統が育んできた人と人の絆をさらに強くできるように努めてまいります。どうぞよろしく願います。

よろしく願います。

五年担任 小山 徹

お隣の東調布第一小学校より転任してまいりました。調布大塚小学校は、駅に近く大きな通りに面しているのにもかかわらず、静かで、校庭にも緑が多く、落ち着いた環境の学校だと思いました。明るく元気な子供たちと出会い、早く子供たちと親しくなれそうです。保護者の皆様のご協力をいただき、調布大塚小学校の一員としてこれからがんばっていききたいと思います。どうぞよろしく願います。

初めての小学校教諭

一年副担任 中澤 勇輝

名古屋から来ました、中澤勇輝と申します。私は勤務の決まる三日前まで、福島県いわき市で災害ボランティアをさせてもらっていました。その経験を少しでも伝えたいと思います。新卒で経験もまだありませんが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

はじめまして

給食主事 斉藤 弘美

はじめまして、相生小学校から参りました。一年生同様で、毎日覚える事がいっぱいです。一日も早く慣れ、安全でおいしい給食を作るようがんばりたいと思います。どうぞよろしく願います。

一年生を迎える会が終わって

特活部 竹内美佐子

入学式から、八日目の四月十三日に、「一年生を迎える会」が行われました。一年生は上級生と対面し、仲間入りした喜びを味わい、また、二年生以上の児童は、上級生であるという自覚をもつ場です。学年が変わり、年度はじめの忙しい中でも、この会に向けて、子どもたちと教職員全てが一致団結する良い機会となりました。

会を盛り上げるものにするために、一年生、二年生以上はそれぞれ短い期間で準備をしました。その過程を簡単に紹介します。

二年生以上は、まず、歓迎の言葉を、初めて調布大塚小で過ごす一年生のことを考えて何にするかクラスで決めます。歌のプレゼントとして、昨年の代

表委員会で決まった「WAになっておどろろ」と歓迎の言葉をクラスや、音楽の授業、朝会の時間で練習をしました。練習のはじめは、声がそろわなかったり、歌詞も覚えられず小さな声でしたが、練習を重ね、当日は、上級生らしく、元気ではりのある声で伝えることができました。

一方、一年生は、お礼の言葉と歌の出し物を準備します。幼稚園・保育園でよく歌ったことのある「となりのトトロ」に簡単な振りをつけて、何度も練習しました。練習している姿は、入学したばかりとは思えないほどの集中ぶりです。当日は、広い体育館と、たくさんのお兄さん、お姉さんの前で緊張を表現してました。

毎年恒例のアーチくぐりでは、一年生は、六年生に作ってもらったペンダントを大事に首にかけながら、こぼれんばかりの笑顔一杯で、上級生のアーチを楽しそうにくぐっていました。



1年生を迎える会

ペンダントを嬉しそうに首にかけ、「となりのトトロ」を元気に披露してくれました。

五月「早ね、早起き、朝ごはん月間」です。

五月十六日(月)〜二十日(金)のお家での様子を「よい子の手帳」(十七ページ)でチェックをしてください。終わりましたら、お家の方からも一言記入していただけたらと思います。